

重要取組シート 文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課

取組項目		町家歴史館3館の活用促進
現状・課題		鉄炮鍛冶屋敷は、江戸時代の鉄炮鍛冶の住居兼作業場を今に伝える唯一無二の文化財である。鉄炮鍛冶の技術は百舌鳥古墳群築造時の金属加工技術から受け継がれ、さらに堺打刃物や自転車産業などの伝統産業を育んだ「鉄の技術をつなぐストーリー」を完成させる重要な資源でもある。大仙公園エリアと環濠エリアの歴史的な繋がりを示す新たな拠点施設として、既存の山口家住宅、清学院の保存修理工事、利便性向上の取組とあわせて活用をはかる必要がある。
取組の内容		○令和6年3月の鉄炮鍛冶屋敷のオープンにあわせ、鉄炮鍛冶屋敷を含む町家歴史館3館を指定管理者で運営を開始するにあたり、以下の取組を進める。 - 鉄炮鍛冶屋敷の展示制作設置や山口家住宅・清学院の保存修理工事、インバウンドに対応した二次元コードによる多言語展示解説の仕組みなど、利便性向上事業と合わせて、町家歴史館の指定管理者の選定を進める。 - 指定管理者との協定書締結後は、鉄炮鍛冶屋敷開館に向けてのプロモーション、鉄炮鍛冶屋敷来訪の思い出につながるミュージアムグッズの選定、町家3館の活用促進のための企画などを指定管理者による事業に位置づけて推進。
スケジュール	前期 (～7月)	☐ (4月) 指定管理者候補者選定委員会 ☐ (6月) 指定議案の議決、展示制作設置業務の業者決定・業務開始 ☐ (7月) 指定管理者との協定書締結
	中期 (～11月)	☐ (8月) 指定管理者と連携した鉄炮鍛冶屋敷プロモーション活動の開始 ☐ (9月) 山口家住宅等の保存修理工事着工 ☐ (10月) 鉄炮鍛冶屋敷ガバメントクラウドファンディングの実施 ☐ (10月) 美原区ららぽーとでの鉄炮鍛冶屋敷 PR 展示
	後期 (～3月)	☐ (12月) 関西大学との連携事業による講演会開催 ☐ (1月) 山口家住宅等の保存修理工事竣工、鉄炮鍛冶屋敷の展示完成 ☐ (2月) プレオープン ☐ (3月) 開館 式典開催
	次年度以降	☐ 山口家住宅について貸館利用を一層すすめる活用を促進する ☐ 山口家住宅の夜間企画の実施（オンリーワン体験など） ☐ 鉄炮鍛冶屋敷での体験イベント、周遊促進イベントの実施 ☐ 鉄炮鍛冶屋敷の企画展示の実施
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ (4月) 指定管理者候補者選定委員会を開催し、指定管理者候補者を選定 ☐ (6月) 令和5年第3回市議会において議決を得て指定管理者が株式会社パソナジョイナスに決定 鉄炮鍛冶屋敷展示制作設置業務につき委託業者が決定し業務を開始 ☐ (7月) 指定管理者と協定書を締結し、8月から指定管理業務を開始
	中期 (～11月)	☐ (8月) 指定管理者と連携し鉄炮鍛冶屋敷開館に向けてのプロモーション計画を作成、計画に基づき活動開始 ☐ (9月) 山口家住宅等の保存修理工事に着工 ☐ (10月) 鉄炮鍛冶屋敷ガバメントクラウドファンディングを開始（12月まで） ☐ (10月) 美原区・堺区区民まつりでのPR及び美原区ららぽーとで鉄炮鍛冶屋敷開館をPRするための展示を実施

(様式 4)

	後期 (～3 月)	☐ (12 月) 関西大学との連携事業による講演会を堺市産業振興センターイベントホールにて開催 ☐ (1 月) 山口家住宅等の保存修理工事の竣工および鉄炮鍛冶屋敷の展示が完成 ☐ (2 月) 鉄炮鍛冶屋敷プレオープン ☐ (3 月) 鉄炮鍛冶屋敷開館 3 月 3 日に開館式典開催、山口家住宅および清学院も同日リニューアルオープン		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	1ー(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出		
	寄与する KPI	環濠エリアへの来訪者数〔現状値：182.6万人(2019 年度)〕		目標値(2025 年度)
				300 万人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	働きがいも 経済成長も	
		8		
	寄与する KPI	—		目標値(2023 年度)
				—